

—平成17年度 決算の概要—

※ 下水道事業会計は、下水道使用料などを財源とした**独立採算**の会計であり、一般の会社の会計方式に似た方式を取っています。

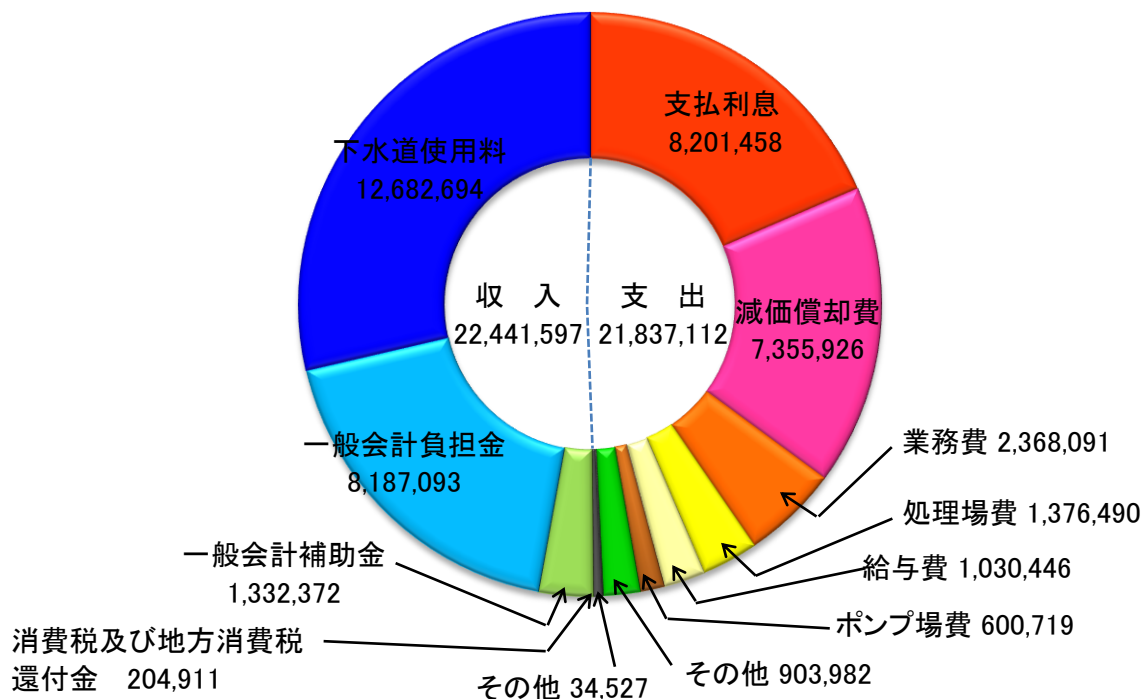
そして内訳は、**収益的収支**と**資本的収支**に分けられます。

1. 収益的収支

※ 収益的収支とは、**下水道関係施設の維持管理などの経営**に関するお金のことです。

<収益的収支 決算>

平成17年度決算 収益的収支 (単位 千円)



<収入>

区 分	予 算 額	決 算 額	予算額に比べ 決算額の増減
	千円	千円	千円
第1款 下水道事業収益	23,021,088	22,441,597	△ 579,491
第1項 営業収益	21,243,279	20,880,273	△ 363,006
第2項 営業外収益 他	1,777,809	1,561,324	△ 216,485

※ 営業収益とは、使用者の皆様からの**下水道使用料**や一般会計からの**負担金**などのことです。

※ 営業外収益とは、市の一般会計からの**補助金**などのことです。

<支出>

区 分	予 算 額	決 算 額	不 用 額
	千円	千円	千円
第1款 下水道事業費用	22,321,017	21,837,112	483,905
第1項 営業費用	13,746,497	13,365,153	381,344
第2項 営業外費用 他	8,574,520	8,471,959	102,561

※ 営業費用とは、下水道関係施設の維持管理費と減価償却費（下水道管やポンプ場・処理場の設備などを取得したときの金額を、一時に全額計上するのではなく、その使用に耐える年数で割り、その額を毎年計上していく費用）などのことです。

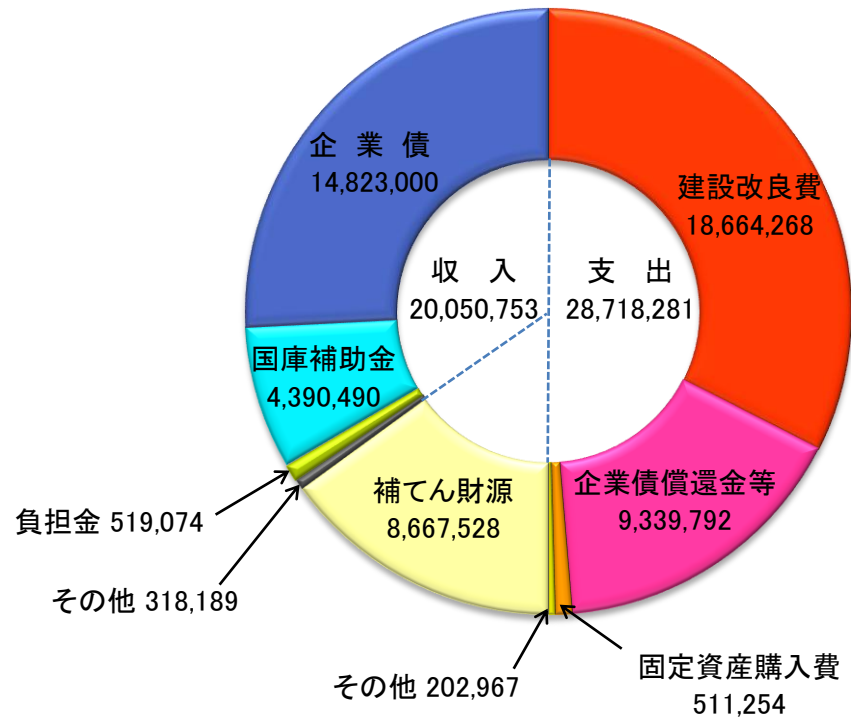
※ 営業外費用とは、建設するときに借りたお金の支払い利息などのことです。

2. 資本的収支

※ 資本的収支とは、施設の建設に関するお金のことです。その内訳は、①建設財源である企業債、国庫補助金、②施設の建設費や改良費、③建設時に借り入れた企業債の償還金などです。

<資本的収支 決算>

平成17年度決算 資本的収支 （単位 千円）



<収入>

区 分	予 算 額	決 算 額	予算額に比べ 決算額の増減
	千円	千円	千円
第1款 資本的収入	30,803,785	20,050,753	△ 10,753,032
第1項 企業債	23,478,000	14,823,000	△ 8,655,000
第2項 補助金	6,533,087	4,390,490	△ 2,142,597
第3項 負担金 他	792,698	837,263	44,565

※ 企業債とは、施設の建設・改良等のために借入れたお金のことです。

※ 補助金とは、国から交付されるお金のことです。

<支出>

区 分	予 算 額	決 算 額	翌年度繰越額	不 用 額
	千円	千円	千円	千円
第1款 資本的支出	38,899,205	28,718,281	6,231,143	3,949,781
第1項 建設改良費	28,599,501	18,664,268	6,231,143	3,704,090
第2項 固定資産購入費	595,598	511,254	0	84,344
第3項 償還金 他	9,704,106	9,542,759	0	161,347

※ 建設改良費とは、下水道施設（下水道管、ポンプ場施設、処理場施設）の建設や改良・更新にかかる費用のことです。

※ 固定資産購入費とは、事業に必要な固定資産（土地や自動車、器具、電話加入権や施設の利用権など）の購入費用のことです。

※ 償還金とは、企業債の返済金のことです。

一平成17年度の主な事業一

下水道は、快適で衛生的な生活環境への改善、雨水排除による浸水の防除及び公共用水域の水質の保全のため、欠かせない都市の重要な基盤施設であることから、下水道整備を「最重要施策」の一つとして位置づけ、新5か年計画に沿って整備を推進してまいりました。

この結果、平成17年度末の下水道汚水処理普及率は、前年度より1.9ポイントの上昇し、新5か年計画の目標としていた96.0パーセントに達しました。

事業実績としましては、平成17年度末の事業認可面積13,067ヘクタールのうち、12,019ヘクタールが整備済となり、行政区域内人口924,063人に対し、整備区域内人口886,655人で、このうち下水道接続人口は853,581人となりましたので、接続率は96.3パーセントとなりました。

<主要な建設改良事業>

▼下水道管工事費 129億4,246万円

○中央雨水1号貯留幹線2工区の工事

○宮崎雨水貯留幹線の工事など

（※ その他、各地区の面的整備を推進し、合計214ヘクタールを整備しました。）

▼ポンプ場工事費 14億3,690万円

○中央雨水ポンプ場の工事など

▼処理場工事費 30億9,573万円

○南部浄化センター高度処理施設の建設

○中央及び南部浄化センター等の施設の更新工事など

今後は、より安全で快適な都市環境を実現するため、第2次5か年計画において重点事業とした、浸水対策や東京湾等の公共水域の水質改善に向けた合流改善・高度処理を着実に推進するとともに、より一層のコスト削減を図り、健全な経営に努めてまいります。

※ なお、さらに詳しい情報をご覧になりたい方は、中央コミュニティセンター2階、市政情報室で資料の閲覧が可能ですのでご利用ください。